

しろいし

shiroishi city council paper

市議会だより

2025年

SPRING 春

第217号

白石城 開門30周年に向けて ～宵祭り～



2～5P 2月定例会の概要・審議した議案
6～8P 予算審査特別委員会

8～13P 市政に対する代表質問・一般質問(10名)
14P 人事・議会の活動状況・編集後記

議会を傍聴しませんか？

6月定例会は、6月11日（水）午前10時開催予定です



インターネット中継



傍聴のしかた

2月定例会 令和7年度一般会計当初予算 192億1730万7千円を可決

令和7年2月定例会は、2月13日から3月6日までの22日間の日程で開催されました。定例会初日、市長提出議案は、専決1件、条例等12件、人事1件、予算13件の計27件でした。市長の施政方針を受け、その後、全ての議案の提案理由の説明が行われ、このうち議案第1号は採決の結果、全会一致で承認しました。代表質問および一般質問は、2月18日と2月19日の2日間で、10名の議員が質問を行いました。

3日目(2月21日)、議案第2号から議案第14号までの質疑が行われ、令和7年度当初予算の7議案は、予算審査特別委員会に審査が付託されました。その他の議案は表決まで行われ、このうち議案第6号・白石市副市長定数条例の一部を改正する条例については、反対および賛成の討論があり、採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決、また、議案第13号・副市長の選任については採決の結果、賛成多数で原案のとおり同意しました。残る議案については全会一致で原案のとおり可決しました。

定例会最終日(3月6日)の本会議において、予算審査特別委員会に審査が付託された令和7年度当初予算(議案第21号から議案第27号)の7議案は、いずれも全会一致で原案のとおり可決しました。

また、最終日に市長提出議案4件(議案第28号から第31号)が追加提案され、質疑の後、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。同日、議員提出議案2件が上程され、質疑の後、採決の結果、賛成少数で否決されました。



市長の提案理由説明

審議した議案の主なものは次のとおりです。

予算

◎令和6年度白石市一般会計
補正予算(第6号)

7億31万円追加し、予算総額を190億3278万円とする。

【質疑】市町村振興宝くじ市町村交付金の歳入理由と使途は。

【答弁】サマージャンボ宝くじ・ハロウィンジャンボ宝くじ等の

収益金を財源に市町村に配分されるもので、少子化等に対応する事業として「子ども医療費助成事業」に活用する予定である。

2月定例会で審議した議案

議案番号	件名	審議結果
議案第1号	市長提案 (令和6年度白石市一般会計補正予算) 専決処分承認を定めることについて(専決第1号) (令和6年度白石市一般会計補正予算)	承認
議案第2号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	原案可決
議案第3号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例	原案可決
議案第4号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	原案可決
議案第5号	白石市職員の修学部分休業に関する条例	原案可決
議案第6号	白石市副市長定数条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第7号	白石市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決
議案第8号	白石市地域公共交通会議設置条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第9号	白石市コミュニティセンター条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第10号	白石市新型コロナウイルス感染症に係る患者等の人権擁護に関する条例を廃止する条例	原案可決
議案第11号	白石市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第12号	白石市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第13号	副市長の選任について	同意
議案第14号	白石市道路線の認定について	原案可決
議案第15号	令和6年度白石市一般会計補正予算(第6号)	原案可決
議案第16号	令和6年度白石市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第17号	令和6年度白石市介護保険特別会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第18号	令和6年度白石市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第19号	令和6年度白石市水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第20号	令和6年度白石市下水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第21号	令和7年度白石市一般会計予算	原案可決

【質疑】仙南地域広域事務組合負担金が280万8千円の減となった理由は。

【答弁】衛生施設に対する負担金は、構成市町の前年度搬入実績により算定され、実績割合等に基づき決定される。

搬入実績が見込量を下回ったことから、減額となったものである。

【質疑】特別対策事業費補助金(畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業費補助金)活用の詳細は。

【答弁】宮城県南畜産業クラスター協議会が実施主体となり、国の補助事業を活用し採卵鶏事業を行うもので、農事組合法人蔵王ファームが、養豚施設敷地内に、鶏舎10棟、管理棟1棟を整備する。



条例等

◎白石市副市長定数条例の一部を改正する条例

多様化する行政課題に的確・迅速に対応する体制の強化を図るため、副市長の定数を「1人」から「2人」に改正するもの。

討論(要約)

反対 角張 大治

副市長の増員による明確な効果が示されていない。

①宮城県の人口減少・少子高齢化対策が成功していない中で、県の人材を投入して効果を上げる根拠がない。

②企業誘致が決まらないのは副市長の定数ではなく戦略の問題であり、その検証が先決である。

③水道料金の適正化について、副市長の増員が解決につながる根拠はない。

効果が示されない負担増は

市民の理解を得られず、業務改善で市政運営の責任を果たすべきである。

以上の理由から議案第6号に反対である。

賛成 佐久間 儀郎

多少コストがかかっても、大きな課題があれば組織強化は

当たり前。市長は企業誘致について、県と一体となって誘致活動を行うため、豊富な経験と人的ネットワークを持つ県職キャリアを招聘したいとしている。また、これまで経験したことがない新たな課題にも的確に対処し、市の意思決定の強化と迅速化を図るとしている。

条例改正案は、市を発展させ、豊かにする政策を進めるためのマクロ視点からの英断であり、高く評価する。

以上の理由から議案第6号に賛成である。

反対 村上 由紀

人口106万人の政令指定都市である仙台市は、副市長の定数は3人であるが、現在は2人体制としている。

1月末現在の人口3万509人の本市が、財政負担を強いままで副市長を2人にするのは贅沢であり、そのツケはいったい誰が負担するのか。

県との連携も、3期目の市長

本人が密にすることの方が、白石市の発展に寄与すると感じ、副市長を増やすことで指示命令系統が増え、行政全体の混乱と非効率化を招く恐れがある。財政負担の増大を招き、行政運営の効率化や市民サービスの向上につながる保証もない。以上の理由から議案第6号に反対である。

議案第22号	令和7年度白石市国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第23号	令和7年度白石市介護保険特別会計予算	原案可決
議案第24号	令和7年度白石市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第25号	令和7年度白石市水道事業会計予算	原案可決
議案第26号	令和7年度白石市下水道事業会計予算	原案可決
議案第27号	令和7年度白石市病院事業会計予算	原案可決
議案第28号	財産の取得について	原案可決
議案第29号	白石市特別職の職員に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第30号	令和6年度白石市一般会計補正予算(第7号)	原案可決
議案第31号	令和7年度白石市一般会計補正予算(第1号)	原案可決
議提第1号	白石市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	否決
議提第2号	白石市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	否決



反対 **高子 秀明**

宮城県内で、副市長定数1名を2名に条例改正した自治体が3自治体あるが、いずれも東日本大震災後の「危機管理上の必要性」や「復興活動の迅速な推進」という大義があった。

人口3万人の本市で、副市長2名体制の大義が「政策的な停滞解消」が理由ならば、疑問であり拙速感が残る。市民が納得するよう時間をかけ、慎重に検討すべきである。

市長の本議案提案理由に大義はあるのか、質疑答弁は多くの市民が納得と共感を得られるのか懸念される。

以上の理由から議案第6号に反対である。

第471回 市議会定例会

意見が分かれた議案の賛否一覧

議決日	件名	議員氏名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
				佐藤龍彦	高子秀明	伊藤勝美	濫谷政義	沼倉啓介	大森貴之	佐久間儀郎	四竈英夫	小川正人	角張大治	村上由紀	佐久間順子	大内卓也	角張一郎	佐藤秀行	松野久郎
2月21日	議案第6号 白石市副市長定数条例の一部を改正する条例	原案可決	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	議
	議案第13号 副市長の選任について	同意	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	議
3月6日	議提第1号 白石市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	否決	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	議
	議提第2号 白石市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	否決	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	議

※「○」⇒賛成した議員、「×」⇒反対した議員、「欠」⇒欠席した議員、「議」⇒議長のため表決に加わらない

市職員が官製談合防止法違反の疑いで逮捕された管理監督責任を重く受け止め、令和7年3月に支給する市長の給料月額を30%、副市長の給料月額を20%減額するもの。

◎白石市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
(定例会最終日提案)

●取得の相手方
白石市土地開発公社

●取得予定価格
9801万円

●取得の方法
随意契約

●取得物件(土地)
5940㎡

●(仮称)道の駅しろいしの事業用地として取得するもの。

◎財産の取得について
(定例会最終日提案)

議会を傍聴してみませんか

～6月定例会は、6月11日(水) 午前10:00開会予定です～

氏名・住所の記入など、簡単な手続きで傍聴ができます。
また、会議の様子は「インターネット中継」や「録画配信」を行なっております。
ぜひ、ご自宅のパソコンなどでご覧ください。

- 傍聴者のべ人数 32人
- ライブ配信視聴回数 1153回
- 録画視聴回数 335回

※録画配信は、映像の編集を行うため、ライブ配信終了後おおむね5日後(土日・祝日を除く)からご覧いただけます。



インターネット中継



傍聴のしかた

当初予算

○令和7年度白石市一般会計
予算

192億1730万7千円
(前年度比13.5%増)

〔主な事業〕

○スマートインターチェンジ
整備事業
4億5475万2千円

○道の駅整備事業
20億9675万5千円

○旧白石市いきいきプラザ
解体事業
2億4387万円

○地域づくりコーディネー
ター設置事業
485万円

○白石城開門30周年記念事業
951万5千円

○子ども医療費助成事業
1億1258万1千円

○白石市小学校入学祝い金
403万円

○胃の内視鏡検査事業
336万7千円

○白石市農業振興事業補助金
500万円

○物価高騰対策割増商品券事業
8250万円

○白石市道東小路線外無電
柱化推進計画事業
1727万8千円

○空家等実態調査事業
1418万5千円

○学校給食費の値上げ補填事業
1903万5千円

総括質疑

〔質疑〕予算総額は前年度より23億円多い192億余円となり、当初予算としては最大規模となっている。今回の予算編成内容についての感想は。

〔答弁〕人口減少・少子高齢化に加え、物価高騰の影響など

により厳しい財政状況であるが、「選ばれるまち しろいし」として発展していくためには今が正念場と考える。財政調整基金等の主要3基金からの繰入金金が20億円規模と多額になるが、限られた財源の中、重要度が高いと考える事業を盛り込み、市発展のために前進させていく予

算編成を行なった。
〔質疑〕道の駅、認定こども園、市民プール、学校再編など、大きな財政支出が予想される事業が山積している。今後の財政見直しに対する考えは。

〔答弁〕公共施設の整備をはじめとする市民サービスの提供には財源が必要となることから、事業実施検討の際には、人口構造の変化・市民ニーズなどに注視し、利用者の需要と社会情勢に応じた整備・公共サービスの提供を行う視点と、活用できる補助金・地方債などの財政措置状況に関する動向を確認し、通常実施している市民サービスへの影響に配慮した財政見直しを立てていく必要があると考える。

令和7年度 一般会計予算

(単位：千円・%)

歳 出		予 算 額	構 成 比
款 別			
1. 議 会 費		164,347	0.85
2. 総 務 費		2,877,380	14.97
3. 民 生 費		5,490,261	28.57
4. 衛 生 費		1,919,173	9.99
5. 労 働 費		1,617	0.01
6. 農 林 水 産 業 費		345,373	1.80
7. 商 工 費		672,171	3.50
8. 土 木 費		4,123,951	21.46
9. 消 防 費		553,374	2.88
10. 教 育 費		1,651,507	8.59
11. 災 害 復 旧 費		4,263	0.02
12. 公 債 費		1,398,617	7.28
13. 予 備 費		15,273	0.08
合 計		19,217,307	

令和7年度 各会計予算

(単位：千円・%)

会 計 別	令和7年度 予 算 額	令和6年度 予 算 額	令和6年度 当初予算比	
一 般 会 計	19,217,307	16,925,771	13.5	
特 別 会 計	8,257,208	8,308,068	△ 0.6	
会 計 内 訳	国民健康保険	3,686,498	3,770,409	△ 2.2
	介護保険	4,048,795	4,020,175	0.7
	後期高齢者医療	521,915	517,484	0.9
合 計	27,474,515	25,233,839	8.9	

企業会計

水道事業会計	1,222,099	1,289,675	△ 5.2
下水道事業会計	2,008,964	1,830,966	9.7
病院事業会計	1,358,997	1,577,919	△ 13.9

※企業会計については収益的支出+資本的支出の額



予算審査特別委員会

議案第21号・令和7年度白石市一般会計予算から議案第27号・令和7年度白石市病院事業会計予算までの計7議案について、定例会4日目(2月21日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・四竈英夫、副委員長・高子秀明)は、3月3日・4日の2日間にわたり審査を行い、全ての議案について、採決の結果、全会致で原案のとおり可決しました。審査の中で議論された主な点は次のとおりです。

一般会計

総務費

◎シティプロモーション事業

【質疑】業務委託の内容と実施時期は。

【答弁】観光・特産品などの資源をインターネットやSNSを通じて広く発信し、市の魅力や認知度の向上を図るとともに、ふるさと納税制度の活用を促すことにより、市内事業者の売り上げ向上やふるさと納税の

収入増加を図ろうとするものである。

市公式ホームページのふるさと納税サイトの開設を早期に進めることにも、寄付が集中する11月・12月の駆け込み前に効果的な広告が展開できるように進めていく。

◎集落支援員事業

【質疑】事業の目的と485万円の使用、コーディネーターの役割と選定、モデル地区の選定と期待される効果は。

【答弁】国の制度を活用し、まち

づくり協議会への委託事業として「地域づくりコーディネーター」を設置、地域住民との話し合いを行いながら新たな取り組みにチャレンジしていくことを目的としている。

モデル地区に齋川まちづくり協議会を想定している。齋川地区は、地区計画を最初に策定し、令和元年度、国の優良公民館表彰で「最優秀館」に輝き、日本一の公民館となった後も新たな取り組みに対して意欲的であり、実現の可能性と他地区へのプラス作用も期待できる。

委託料に、1名分の人件費と厚生費、事業費合計485万円を見込んでいる。コーディネーターの役割として、国は「集落点検の実施」「集落のあり方に関する話し合いの促進」「地域の実情に応じた集落の維持・活性化対策」を掲げている。まちづくり協議会において候補者の選考を行い、市へ報告をもらうことを想定している。

◎甲冑のまち事業

【質疑】事業のねらいとその効果は。

【答弁】白石城、城主片倉小十郎公といった歴史的資源を最大限に活用し、甲冑をはじめとする戦国時代をモチーフとした雰囲気づくりにより、歴史に興味・関心のある方や外国人観光客を呼び込み、交流人口の拡大につなげようとするものである。

特に「鬼小十郎まつり」には、昨年約8千人が来場し、市内業者も多く出店。まつり会場や中心市街地は大変賑わい、活気ある地域づくりが図られた。また、エキストラ60名のうち、約半数が県外からの参加者で、まつり当日と3回の練習会の宿泊や飲食の利用があった。

民生費

◎権利擁護支援体制整備事業

【質疑】中核機関の概要は。

【答弁】国の「成年後見制度利用促進基本計画」に基づき、権利擁護を必要とする方が、必要なときに適切な支援につながるよう、地域で支える体制を構築する地域連携ネットワークの中心となる機関で、「白石

市権利擁護サポートセンター」の名称で設置するものである。

◎生きがいデイサービス事業

【質疑】事業の詳細は。

【答弁】要介護状態の予防を目的に、「白石温泉薬師の湯」と「ホワイトキユーブ」の2カ所を実施するデイサービス事業である。

要介護認定等に該当しない65歳以上の高齢者を対象に、生活指導やレクリエーション、軽スポーツ活動、昼食等のサービスをこなしている。

利用者負担は、1回の利用につき千円、週1回、月4回利用を基本とし、2施設を交替わりで交互に利用いただいている。

衛生費

◎出産・子育て応援交付金事業

【質疑】事業の詳細は。

【答弁】出産応援交付金・子育て応援交付金として、各5万円を給付し、経済的な子育て支援

を目的に、令和4年度から実施している。「伴走型相談支援」として、妊娠届け出時、妊娠8カ月時、産後の3回の面談が、本事業給付の必須項目と定められており、妊婦や産婦との相談の機会として活用している。4月からは制度改正により、必須項目ではなくなるが、これまで同様に行なっていく。

◎環境保全対策事業

【質疑】各委託業務の詳細と、前年度から減額となった理由は。

【答弁】委託料の主なものは「公共用水域水質検査委託業務」で、市には法令による検査義務はないが、苦情対応等のデータ収集等も兼ねて自主的に市内の河川、用水路、川原子ダム等28カ所で検査を実施している。実績を踏まえ、予算額を精査し、減額となったものである。

農林水産業費

◎新規就農者育成総合対策事業

【質疑】事業の目標と期待する効果は。

【答弁】次世代を担う農業者を志す、経営開始直後の新規就農者に対し、早期の経営確立を目指す事業である。関係機関により構成されるサポートチームと連携し、適切な助言や指導を行うことで、早期離農を防止する効果が期待される。

商工費

◎物価高騰対策割増商品券事業

【質疑】割増商品券の内容と実施期間、委託先は。

【答弁】エネルギー・食料品価格等の物価高騰による本市経済への影響を改善するため、3割増商品券を販売するもので、額面1万3千円を1万円で、2万3千セットを7月上旬に販売し、12月末の利用期限を考えている。本事業は、市内飲食店や小

売店等を利用店舗とすることから、市内事業者精通する白石商工会議所への委託を検討している。

土木費

◎橋梁長寿命化対策事業

【質疑】白石駅歩道橋修繕工事の進捗状況と完成時期は。

【答弁】令和6年8月より歩行者の通行止めを行い、仮設足場を設置、塗装の剥離作業が完了し、現在(3月)は、さびを落とす研磨作業を行なっている。令和7年4月頃から歩道橋の鋼製部材の補強や塗装などの補修作業に着手し、令和7年度末に完了予定である。

消防費

◎消防施設整備事業

【質疑】消火栓設置工事負担金の詳細は。

【答弁】市内9カ所に消火栓を新設するための工事負担金で、スマートインターチェンジ関連事業の新設が5カ所、既設防火水槽の老朽化等による代替設置が4カ所である。

教育費

◎地域スポーツクラブ活動体制整備事業

【質疑】成果の見込みと委託料の算定根拠は。

【答弁】中学校の休日部活動を地域のスポーツクラブに移行する実証事業を、東中学校を拠点校として実施しており、令和7年度は、白石中学校や福岡中学校でも計画している。委託料は、コーディネーターの人件費、地域指導者への謝金、活動に参加する生徒や指導者の傷害保険料などを基礎として算出している。

特別会計

国民健康保険事業

【質疑】一般会計繰入金が、前年度から1717万8千円の減額となった理由は。

【答弁】被保険者数の減少により、保険基盤安定繰入金が約190万円、職員給与費等繰入金から500万円減額となったものである。

介護保険事業

【質疑】認知症初期集中支援事業の詳細と、期待できる効果・課題は。

【答弁】仙南サナトリウム(プラス)への委託による、専門医、精神保健福祉士、社会福祉士、地域包括支援センターの保健師、社会福祉士でチームを構成し、支援を行う事業である。

おおむね40歳以上の「認知症が疑われる方」「認知症で必要なサービスに結びついていない方」を対象に、相談があった際は家庭訪問を行い、訪問後はチーム会議を開催し支援の方針を検討している。

早期に専門チームを編成することで、認知症の早期診断と

対応に向けた適切な支援
が図られるほか、必要な医
療や介護の導入・調整によ
り、自立生活のサポートを
円滑に行うことができる。
課題として、認知症によ
り日常生活に支障を来す
行動がみられてから相談
に結びつくケースが多いこ
と、独居や高齢者のみの世
帯など、サポートする親族
が不在の場合、チームが介
入しても、適切な治療や介
護サービスに結びつくこと
が困難なケースがあること
などが挙げられる。

下水道事業

【質疑】内水ハザードマッ
プ作成業務の内容と周知
方法は。

【答弁】国の交付金を活用
し、令和5年度からの3
力年で、最大クラスの降雨
を想定した浸水シミュレ
ーションによる、内水浸水
想定区域図を作成し、雨
水管理総合計画を策定す
る計画としている。

水道事業

【質疑】漏水調査業務の調
査方法と調査箇所、調査
費等の詳細は。

【答弁】衛星を活用した漏
水調査を、県内11事業体
と福島県1事業体で共同
で行なっている。

調査の結果、半径100

病院事業

る浸水情報と避難方法等
の情報を、市民に分かり
やすく提供し、円滑な避
難・誘導の実現や平常時
からの防災意識向上を図
ることができると考える。

【質疑】医業収益中、他会
計負担金1億2887万
5千円は、医業外収益に
算入すべきではないか。

【答弁】医業収益中、他会
計負担金については、国で
定める「繰出基準」に基づ
き、「救急医療の確保に要
する経費」として一般会計
が負担する経費を計上し
ている。

救急医療分を医業収益
に計上しているのは、交付
税の算定や決算統計上、
病院事業会計において、
医業収益に計上する必要
があるためである。

3年目となる令和7年
度は、内水浸水想定区域
図を基に危機管理課に依
頼し、内水ハザードマップ
の作成を進めていく。
これにより、内水によ

市政に対する代表質問

10名の議員が質問

2月定例会の代表質問・一般質問は、2月18日・19日の2日間
にわたりに行われました。質問の要旨は次のとおりです。

※二次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。

【代表質問】

佐久間儀郎 令和7年度施政方針について
高子 秀明 令和7年度施政方針について

【一般質問】

佐藤 龍彦	公立刈田総合病院の現状と今後について
四竈 英夫	本市農業の現状と今後について
大内 卓也	本市職員の働き方改革と職場環境の改善について
村上 由紀	白石城開門30周年記念イベントについて
大森 貴之	スフィア基準とTKB+Wに対する見解について
澁谷 政義	本市の防災・減災対策の充実について
角張 大治	多様化する住民ニーズへの対応について
佐藤 秀行	みやぎ蔵王白石スキー場について

令和7年度施政方針について

佐久間 儀郎



〔質問〕少子高齢化と人口減少対策を伺う。

〔答弁〕〔市長〕移住・定住の促進や企業誘致の加速は重要課題。若者にとって魅力あるまちづくりの推進、結婚、妊娠・出産、育児の切れ目ない支援の強化が必要。地域包括ケアシステムの充実を目指し、市政課題を先送りすることなく、積極果敢に挑戦を続けていく。

〔質問〕白石川サッカー公園サッカー場の大規模改修の要望にどう対応するか伺う。

〔答弁〕〔市長〕人工芝の経年劣化が見られる。今年度は公園施設長寿化計画の見直し時期

であり、事業費の平準化を考慮しながら他の都市公園と同様、改訂後の計画に基づいた改修を行なっていきたい。

〔質問〕経済協力開発機構(OECD)の国際的教育評価と個別最適化学習のためのAIモデル構築事業に参加協力するが、本市の教育上のメリット、効果を伺う。

〔答弁〕〔教育長〕今後の教育改革において大変重要な取り組みと認識。AIを活用することで、より客観的かつ公平な評価が可能となり、児童生徒一人一人の強みや課題を的確に把握するとともに、短時間での評価が可能となる。

AIを活用した学習評価がこれからの教育現場において重要な役割を果たすものと期待

したい。

〔質問〕おもしろい市場に加えて(仮称)道の駅しろいしにおいても農業生産者や物産販売者の販路確保と拡大が求められる。「みのりラボ」「みのりファクトリー」と連携して6次産業化、ブランド化を推進すべきと考えるが、見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕(仮称)道の駅しろいし整備事業では、株式会社サンアメニティが代表企業を務める株式会社しろいしグロウパークと事業契約を締結。しろいしサンパークとの連携は図りやすいと考える。運営を進めるにあたり、「みのりラボ」「みのりファクトリー」を含む地元企業との連携は欠かせないことから、商工会議所、株式会社しろいしグロウパークと連携して取り組んでいきたい。

令和7年度施政方針について

高子 秀明



〔質問〕令和6年度は市制施行70周年記念事業、令和7年度は白石城開門30周年、また、10月に開催される第48回全国育樹祭と2力年にわたるしろいしを全国に知らしめる絶好の機会と捉えていると察する。これを契機に、本市活性化のため、本市の魅力を全国にPRし、「人と地域が輝き、ともに新しい価値を創造するまちしろいし」をいかに実現するか、市長の展望を伺う。

〔答弁〕〔市長〕本市にとって記念すべき年が続いており、この期間を通じて行われるさまざまな記念事業の成果として、

最も期待するのは市民のシビックプライドの醸成である。

ふるさとに誇りと愛着を持っていただけでは、地域に関わろうとする方も増え、地域力は向上し、ふるさとの魅力を見つめ直すことで新しい価値も生まれてくる。本市の魅力を積極的に発信し、国内外多くの方に白石を知っていただくとともに、市民の皆さんと本市の魅力を再発見し、ふるさとへの誇りと愛着をより強く感じる契機にしていきたいと願っている。

〔質問〕国・県との連携を強化し、これからの予測困難な時代に、的確で適正な行財政運営に取り組むため、副市長2名体制で臨むことは、人口減少と少子高齢化が進む本市におい

て、市民に対してどのように理解を得ていくのか、市長の見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕全国の特別区を含む815市のうち、約4割の325市区で副市長の定数を2以上としており、県内でも14市のうち半数の7市が副市長定数を2以上としている。それぞれの市町が人口規模にかかわらず、必要に応じ副市長定数2以上としており、本市が副市長を2人とすることは決して特異なことではない。

今後、加速する人口減少と少子高齢化の深刻さをご理解いただき、多くの市がそれぞれの事情と必要に応じて副市長を2人以上置いている状況をご理解いただければ、本市が副市長を2人とするにつれても、市民の皆さんにご理解いただけている。

公立刈田綜合病院の現状と今後について

佐藤 龍彦



的に稼働させていく計画であると聞いている。

〔質問〕4月に常勤の麻酔科医が着任予定であるとのことだが、それ以降、新たな医師の採用予定はあるのか伺う。

〔答弁〕保健福祉部長「4月に麻酔科医が着任予定であるが、その後の採用予定については未定である。」

〔質問〕現在、休床している47床の病床の稼働見通しを伺う。

〔答弁〕保健福祉部長「指定管理者からは、一気に47床を再開するのではなく、看護師数に応じて、まずは稼働率が高まっている急性期病床を稼働させ、残りを段階的に稼働させていく計画であると聞いている。」

〔質問〕令和6年度第2回宮城県地域医療構想調整会議(仙南区域)において、アドバイザーより白石地区周辺住民の急性期医療ニーズに懸念されることができるとの指摘があったが、今後公立刈田綜合病院は、白石地区の急性期医療ニーズにどのように対応していくのか伺う。

〔答弁〕(市長)第8次宮城県地域医療計画において、仙南医療圏の急性期病床の必要病床数は、現状では過剰な状況となっている。

また、地域医療構想調整会議のアドバイザーの発言については、病床の機能分化・連携を推

進するために、連携プランに基づき実施された、急性期病床の削減およびみやぎ県南中核病院への集約化であり、仙南医療圏の地域医療構想に沿った病床配分である。その中で、公立刈田綜合病院は、急性期機能を保持しつつ、回復期医療を担うこととされている。

現在、公立刈田綜合病院で稼働している急性期病床は53床あり、稼働率は令和6年12月で88%となっている。また、救急の受け入れ件数や他の医療機関との連携についても、指定管理者制度導入以降、大幅に改善されており、仙南医療圏での役割を果たしていると考えている。

今後は、休床している病床の一部を急性期病床として早急に稼働させ、病院機能を高めることで、急性期ニーズに対応していけるものと考えている。

本市農業の現状と今後について

四電 英夫



〔質問〕全国的に農業後継者不足による農業衰退の傾向が表れている。

〔答弁〕(市長)全国的に農業後継者不足による農業衰退の傾向が表れている。耕作面積は2000年に全国483万ヘクタールだったが、2021年には435万ヘクタールと20年間で約50万ヘクタール減少している。こうした傾向は本市農業にも表れているのではないかと懸念される。

事者数は789人、5年間で259人減少している。年齢は70.5歳で5年前より1歳上がっている。

〔質問〕水田・畑などの耕作面積と、家畜の飼養頭数を伺う。

〔答弁〕(市長)水田1640ヘクタール、畑1400ヘクタール、家畜飼養頭数6万8860頭で、いずれも直近3年間横ばいである。

〔質問〕将来にわたり維持拡大する事ができるか伺う。

〔答弁〕(市長)本年度中に各地域の地域計画を策定する。農地の集積・集約化、農地中間管理機構の活用、多様な経営体の確保・育成、鳥獣被害防止対策、スマート農業、耕畜連携、担い手の確保など、関係機関と連携し、地域計画の実現を図りたい。

価格形成に向けた仕組みの構築」が議論されているが、維持拡大を図るには、多くの課題があると認識している。

〔質問〕本市の農業を維持していくには何が必要と考えるか伺う。

〔答弁〕(市長)高齢化や人口減少に伴い、耕作放棄地の拡大など、農地が適切に利用されなくなるのが懸念される。農地中間管理機構、農業協同組合、土地改良区、農業委員会等と連携し、後押ししていかなければならないと考える。

〔質問〕本市農業の展望を伺う。

〔答弁〕(市長)本年度中に各地域の地域計画を策定する。

農地の集積・集約化、農地中間管理機構の活用、多様な経営体の確保・育成、鳥獣被害防止対策、スマート農業、耕畜連携、担い手の確保など、関係機関と連携し、地域計画の実現を図りたい。

二次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。

本市職員の働き方改革と 職場環境の改善について

大内 卓也



〔質問〕自然災害発生時の業務体制を伺う。

〔答弁〕〔危機管理課長〕基本的には全ての職員が災害対応に従事することになる。職員の手当は時間外勤務手当で対応する。

〔質問〕イベント等での業務体制を伺う。

〔答弁〕〔総務課長〕職員が不足する場合、担当課以外の職員も従事。振替休日または時間外勤務手当で対応している。また、イベント等の一部を業務委託により進めている。

〔質問〕系の統合や組織再編も視野に入れてはどうか。

〔答弁〕〔総務課長〕系の統合は有効な手段である。今後組織再編を行なっていく。

係長職の給与は、近隣市町村の状況を調査し検討していく。

〔質問〕職員の育成について伺う。

〔答弁〕〔総務課長〕職員がスキルアップできる環境を整備している。若手職員を含めた職員全体のさらなる能力や意欲の向上を目指し、人材育成基本方針の改定に向け、検討を進めていく。

〔質問〕職員の相談環境について伺う。

〔答弁〕〔総務課長〕上司からの声かけ等、相談しやすい環境、体制づくりに努めていく。

〔質問〕夏季休暇を増やしてはどうか。また、独自の特別休暇を設けて

はどうか。

〔答弁〕〔市長〕令和7年度から夏季休暇を5日に増やし、心身の健康維持、リフレッシュを促進し、職員の働きやすい環境を整えていく。

〔質問〕職場環境の整備や見直しについて伺う。

〔答弁〕〔市長〕職員のモチベーションが上がり、来庁する市民にも快適な空間となるよう、方策を検討していく。

◎本市各地区公民館の運営について

〔質問〕各地区公民館の将来像はあるか。

〔答弁〕〔教育長〕今後地域活動、コミュニティ、防災の拠点としての役割を果たしていく。地域の特性を生かし、魅力を高めていくには、各地区で主体的に行うことが欠かせない。引き続きまちづくり協議会に運営をお願いし、行政と連携協力して地域づくりを推進していく。

白石城開門30周年記念 イベントについて

村上 由紀



〔質問〕30年前の白石城開門の際には、1日で約5500人が天守閣に登り、甲冑行列の陣式では身動きが取れないほどの人出となった。お城でのイベントには多くの誘客が見込める。それに付随する経済効果も、市全体の取り組みとすることで、商業、観光施設に大きく波及すると考える。

白石城開門30周年記念イベントの企画内容を伺う。

〔答弁〕〔市長〕鬼小十郎まつりの翌日となる10月12日に、メインイベントとして、地元食材を活用したフードマルシェ、仙南地域にゆかりのあるミュージシャンなどに

よるステージイベントを開催し、宵の口から天守閣城壁を活用して、プロジェクションマッピングを実施する。

〔質問〕経済効果を上げるために、商店街や飲食店、宿泊施設とのタイアップの構想はあるか伺う。

〔答弁〕〔市長〕商店街や飲食店、宿泊施設と連携した取り組みを行なっていくため、調整を図りたいと考えている。市内宿泊施設を利用した方への優待や、飲食店の利用促進が図られる取り組みを検討していく。

◎本市の観光振興の推進について

〔質問〕観光知名度を上げるための具体的な取り組みを伺う。

〔答弁〕〔商工観光課長〕東北への訪日外国人観光客は、過去最高を更

新し続けているが、国全体の1パーセントにとどまるなど苦戦を強いられている。白石のみを選んで観光してもらうのは難しく、いかにPRするかが課題である。令和7年度は、東北観光推進機構に入会し、オール東北での情報発信に参加する。

〔質問〕宮城蔵王キツネ村を起点とした白石市内回遊プランを検討してはいかがか伺う。

〔答弁〕〔商工観光課長〕台湾での観光博や商談会に参加し、旅行会社を個別訪問する営業活動を実施してきた。成果として、KKdayグループの旅行商品「世界で話題のもふもふスポット宮城蔵王キツネ村&伊達家重臣の片倉氏の居城白石城」の販売につながっている。

今後数多くの旅行者が白石市を訪れ、周遊し宿泊されるよう、観光事業を実施していく。

二次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。

スファイア基準とTKB+Wに
対する見解について

大森 貴之



〔質問〕スファイア基準とは通称であり、正式名称を「人道憲章と人道対応に関する最低基準」という。

このスファイア基準について、本市の見解、認識を伺う。

〔答弁〕危機管理課長 スファイア基準については被災者等の権利や尊厳と、苦痛を軽減するため、実行可能なあらゆる手段が尽くされるべきという理念に基づくもので、現在、政府よりこの基本指針やガイドラインを満たす「事前防災」を適切に進めるよう通知があることから、本市でも今後検討し、計画を進めていく。

〔質問〕今後、避難所運営マニュアルをより良いものとするために、スファイア基準に可能な限りのつとめたものに更新していくべきと考えますが、見解を伺う。

〔答弁〕市長 令和7年度白石市総合防災訓練実施計画案では、令和6年能登半島地震を踏まえた災害対応の在り方や、スファイア基準を踏まえ、本市の現状について確認すると追記している。

令和7度白石市総合防災訓練においては、改めて避難所の広さや環境などについて確認していく。

本市の実情に合わせた被災者への支援を検討し、今後、避難所開設・運営マニュアルを改訂したい。

〔質問〕Tとは安心して利用できるトイレ環境

二次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。

の確保。Kはキッチン、温かい食事を確保すること。Bはベッド、温かく過ごすこと。Wは暖房機器を確保することであり、避難所運営の質を高めるためのキーワードである。

TKB+Wについての見解を伺う。

〔答弁〕危機管理課長 令和6年能登半島地震では、死者行方不明者515名、うち災害関連死は287名で、半数以上の方々が地震による直接死ではなく、避難生活の影響による災害関連死であることから、TKB+Wは非常に重要であると言われている。

政府は発災後、早急に全ての避難所でスファイア基準を満たすことができるよう「事前防災」を進めることから、新たな交付金制度も創設されている。

今後、本市の実情に合った災害用備蓄品の整備を検討していく。

本市の防災・減災対策の充実
について

澁谷 政義



〔質問〕地震と風水害では、災害の内容や避難の時期・避難の場所等が大きく異なるため、双方の訓練を隔年ごとに実施すべきと考えますが、見解を伺う。

〔答弁〕市長 災害の種類によって、開設する避難所も異なることから、双方の訓練を交互に実施することは、市民の生命や財産を守るためにも非常に有効なものと考ええる。

各自治会・自主防災組織や学校など、関係機関の意見を伺いながら、白石市防災会議において訓練内容などについて協議を進めていく。

〔質問〕安心・安全な社会を形成する一助として、防犯カメラの駅や商店街、市内公道各所、各地区の施設等への増設を推進すべきと考えますが、見解を伺う。

〔答弁〕市長 現在、施設管理用の監視カメラを設置している箇所もあるが、防犯という大きな視点からすると十分とは言えない。

〔質問〕温暖化の影響を受けて、道路の雑草管理が困難になっている。また、除草作業に従事する作業員の作業軽減を考慮して、除草剤の有効活用を考えるべきと思うが、いかがか。

〔答弁〕建設課長 これまでも、農産物等への影響が小さい市内中心部の道路を中心に、除草剤を使用している。

今後現場の状況に合わせて、除草剤の使用も考慮し除草作業を行っていく。

多様化する住民ニーズへの対応について

角張 大治



策をどのように結び付けていくのか伺う。

【質問】多様化する住民ニーズに対応することが、行政事務の非効率化や市民福祉の低減につながる可能性もあるが、この点をどう考えるか。

【答弁】【市長】必要性や費用対効果、財政状況等を総合的に勘案し、優先順位をつけて必要な政策に取り組んでいく。

住民ニーズの多様化に職員が対応できるように、業務の効率化やデジタル技術の活用を推進し、行政事務の効率化・合理化を推進していく。

【質問】変化・多様化する住民ニーズをどのように把握しているか。また、優先すべき政

【質問】外部人材を登用することにより、市民福祉の向上に寄与する点を伺う。

【答弁】【市長】さまざまな分野で活躍してきた経歴の方が多く、施策の推進を図ることができ

【答弁】【市長】住民ニーズの把握については、行政資料の活用、市民・団体自治会等からの要望、地区懇談会での意見、アンケート・ヒアリング調査など、さまざまな形で把握している。

今後とも必要性、費用対効果、財政状況等、総合的に勘案し取り組んでいく。

◎外部人材の管理職、特別職への登用について

【質問】外部人材の選定基準やプロセスを伺う。

【答弁】【市長】それぞれの分野に通じた行政経験を有する人材であることが最も重要と考える。国や県から推薦・派遣していただき、登用することが最も効果的であると考える。

【その他の質問】市職員の労働状況について

みやぎ蔵王白石スキー場について

佐藤 秀行



【質問】第2リフトは、平成11年にペアリフトとして設置されてから26年が経過している。安全・安心のためにもセ

【答弁】【市長】スキーヤーの安全面を考慮し、セーフティーバーの設置が必要であると考え。併せて、搬器に風による揺れ防止のためのウエイトを新たに設置する。

【質問】市内のほとんどの小学校でスキー教室を実施しており、スキー場が所有するバスで無償で送迎を行なっている。しかし、人数が多

【質問】第2リフトは、平成11年にペアリフトとして設置されてから26年が経過している。安全・安心のためにもセーフティーバーの設置も含めて、早期に架け替えを検討すべきと考えるが、見解を伺う。

【答弁】【市長】スキーヤーの安全面を考慮し、セーフティーバーの設置が必要であると考え。併せて、搬器に風による揺れ防止のためのウエイトを新たに設置する。

【質問】市内のほとんどの小学校でスキー教室を実施しており、スキー場が所有するバスで無償で送迎を行なっている。しかし、人数が多

【質問】市長は以前、全対象者にお渡ししたい思いがあるので、自治会連合会や民生委員・児童委員などのご意見を賜りながら前向きに検討すると答弁している。その後の検討結果について伺う。

【質問】市長は以前、全対象者にお渡ししたい思いがあるので、自治会連合会や民生委員・児童委員などのご意見を賜りながら前向きに検討すると答弁している。その後の検討結果について伺う。

【質問】市長の以前、全対象者にお渡ししたい思いがあるので、自治会連合会や民生委員・児童委員などのご意見を賜りながら前向きに検討すると答弁している。その後の検討結果について伺う。

人事

2月定例会において、次のとおり選任することに同意しました。

副市長

(任期：令和7年4月1日)

令和11年3月31日

おおば 庭 豪 樹 氏

市民との意見交換会を開催しました

3月16日(日)、白石市中央公民館を会場に市民とのワークショップを行い、のべ44人の皆さまから参加をいただきました。

詳しい内容は、市議会のホームページ(5月中を予定)や次号の議会だよりなどでお知らせいたします。

予算特別委員会の現地調査



スマートインターチェンジ整備事業・道の駅整備事業

◆◆◆ 令和6年 議会の活動状況 ◆◆◆

令和6年は、4回の定例会(2月・6月・9月・12月)が開催されました。その概要は次のとおりです。

◎議会の開催状況

会議名	招集回数	会期日数
定例会	4回	68日
臨時会	0回	0日

◎提出議案の状況

[単位：件]

市長提案議案							計
条例	予算	人事	契約	専決	決算	その他	
28	34	7	2	20	3	4	98

議員提案議案					計	請願
条例	意見書	決議	その他	計		
0	1	0	0	1	0	

会議名	開催日数	会議名	開催日数
本会議	20日	特別委員会 予算審査	2日
		決算審査	3日
議会運営委員会	20日	委員会等 議会広報委員会	11日
常任委員会 総務産業建設	9日	議会改革推進会議	3日
	厚生文教	10日	政策企画調整会議

◎議案等の議決状況

[単位：件]

原案可決	同意	認定	承認	採択	不採択	否決	計
69	7	2	20	0	0	1	99

◎議会の傍聴者数

男	女	計
77人	34人	111人

編集後記

今年も春が過ぎ、暖かくなってきました。桜満開だった白石城は開門30周年を迎えます。

さて、3月16日に開催しました第8回市民と議会の意見交換会は、今までと異なったテーマで開催しました。

配布チラシは私がデザインを担当し、我々議会も変わらなければならぬという思いも含め、今までとは違うデザインで制作に励みました。

意見交換会で話し合った内容も踏まえ、これからも議員一丸となり、新しい取り組みを提案し続け、あの頃の元気な白石を取り戻しながらも、さらに住みやすい環境づくりに努めてまいります。

議会広報委員会

大内 卓也

議会広報委員会 委員

委員長	四竈 英夫
副委員長	村上 由紀
委員	佐藤 龍彦
委員	高子 秀明
委員	大森 貴之
委員	角張 大治
委員	大内 卓也
委員	佐久間 順子